

H26年度-H28年度 栄村 トンネル・スノーシェッド定期点検 結果一覧

トンネル

諸元						結果						
施設名		路線		建設年度(西暦)	延長(m)	トンネルの施工法	点検記録				附属物の取付状態	
トンネル名	(フリガナ)	路線名	トンネル毎の判定区分				点検実施年度	点検実施年月日	調査実施年月日	○ or ×	箇所数(×の場合)	
-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳(矢板)</li> <li>・山岳(NATM)</li> <li>・シールド</li> <li>・開削</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年度</li> <li>・H27年度</li> <li>・H28年度</li> <li>・H29年度</li> <li>・H30年度</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I</li> <li>・II</li> <li>・III</li> <li>・IV</li> </ul>	-	-
矢櫃トンネル	(ヤビツトンネル)	村道長瀬秋山線	1995	96	開削	H28年度	H28. 6. 14	H28. 6. 14	II	○		

トンネル定期点検に係る判定区分の分類(国土交通省 道路局 国道・防災課「道路トンネル定期点検要領」より)

I	利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。
II	将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。
III	早晚、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、早期に対策を講じる必要がある状態。
IV	利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態。

スノーシェッド

諸元						結果			
施設名		路線		完成年度(西暦)	延長(m)	幅員(m)	点検記録		
シェッド名	(フリガナ)	路線名	点検実施年度				点検実施年月日	判定区分	
-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年度</li> <li>・H27年度</li> <li>・H28年度</li> <li>・H29年度</li> <li>・H30年度</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I</li> <li>・II</li> <li>・III</li> <li>・IV</li> </ul>	
屋敷1号スノーシェッド	(ヤシキイチゴウスノーシェット)	村道長瀬秋山線	2000	104	6	H28年度	28. 11. 4	III	
屋敷2号スノーシェッド	(ヤシキニコウスノーシェット)	村道長瀬秋山線	2000	82	6	H28年度	28. 11. 4	II	
屋敷3号スノーシェッド	(ヤシキサコウスノーシェット)	村道長瀬秋山線	2001	126	6	H28年度	28. 11. 4	II	

スノーシェッド定期点検に係る判定区分の分類(国土交通省 道路局「シェッド、大型カルバート等定期点検要領」より)

I	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態